

Gas Innova 出展企業 紙上技術紹介特集



今回のGasInnova(ガスイノバ)では、ピッチイベント(14社)、ポスター展示(44件)、展示ブース(6社)などが設けられ、燃料電池、配管技術、IoT(モノのインターネット)を活用した技術、スマートメーターに関する技術など、最前線の技術がオンラインで紹介された。これらに参加した企業のなかで、愛知時計電機、アズビル金門、I・T・O、イクシス、大阪ガス、Daigasガスアンドパワーソリューション、東京ガスエンジニアリングソリューションズ、パーパス、ヤンマーエネルギーシステム、両毛システムズの10社の最新システム・製品を紹介する。

アズビル金門

〇問い合わせ 営業本部ガス供給システム営業部 ☎03-5980-3734
SMaaS事業部IoT営業部 ☎03-5980-0531
URL <https://ak.azbil.com/>

MDCSで集計・管理業務を効率化



アズビル金門が紹介するガバナー監視クラウドサービス、メーターデータクラウドサービス(MDCS)は、ともに契約者がインターネットに接続できる環境であれば、さまざまなシーンでデータを確保できるクラウドサービスです。クラウド利用により、従来のシステムに比べて初期導入費用を低減し、OSのバージョンアップに伴うメンテナンス等のランニングコストの削減が可能となります。

2017年から展開しているメーターデータクラウドサービス(MDCS)は、大容量メータデータの収集を自動化し、当社のクラウドサービスにドッキングすることで、現場での時間や場所を問わず需要者のガス使用量データを確保することができ、データを活用して

「データを活かして最適なエネルギー管理を。」というコンセプトで、システム保守・運営、データ閲覧、メーターに関する情報提供、毎日統計レポートをバイデータ、顧客接点強化、新たな営業提案を実現しています。アズビル金門のホームページをご覧ください。

愛知時計電機

〇問い合わせ 営業本部ガス営業推進部 ☎052-661-5160
FAX 052-655-0091

「WM-1000」新機種 シリーズ初のBluetooth通信対応型



スマートフォンのアプリで、現場で圧力測定データを記録できる。

概要 デジタルメーターは、低圧ガス管全般の新設・入替工事、開栓業務、メーターの取り換え時のガス管の圧力測定や気密・漏えい検査に用いられる。従来のデジタルメーターは、都市ガス専用機、都市ガス/LPガス兼用機(2機種あり)で、大阪ガスとの共同開発。初期モデルの完成は1986年。同シリーズの累計販売台数は約1万5000台となり、改良を重ねつづけて2020年5月発売した新機種「WM-1000」は、Bluetooth通信対応型ハイブリッド型とすることで、デジタルメーターと従来のデジタルメーターの両方の利便性を向上させ、現場での作業効率を向上させることに取り組んでいます。

イクシス

〇問い合わせ CSO兼Strategy&Alliance Div. Director 市橋徹 ☎044-589-1500

ロボット×AIでガス事業をDX化



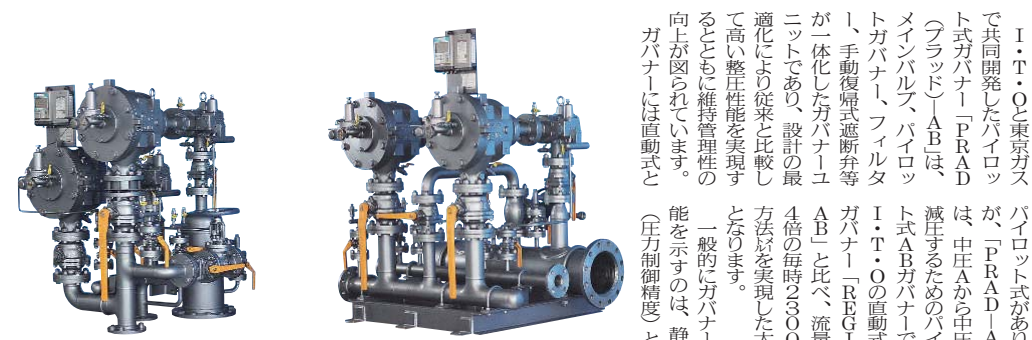
日本はインフラ老朽化など、現場で実務に使える「異常気象 熟練技能者」減少など、インフラが抱える社会的課題が深刻化しています。イクシスは「ロボット×AI」ソリューションで社会を守るための課題解決に貢献しています。ウイスクロナ環境での非接触も実現します。

20年度には、国土交通省「建設現場の生産性を向上する革新的技術」に採択され、経済産業省「産業保安高度化推進事業費補助金」(防爆ロボット開発)に採択され、関係官庁・業界大手から認められた技術力を有しています。

I・T・O

〇問い合わせ 営業本部広報課 ☎072-981-3781

パイロット式ガバナー「PRAD-AB」



I・T・Oと東京ガスで共同開発したパイロット式ガバナー「PRAD-AB」は、中圧から中圧Bに減圧するためのパイロット式ガバナーです。I・T・Oの直動式ガバナー「REGI-AB」と比べ、流量は約4倍の毎時2300L立適により従来と比較して高い整圧性能を実現するとともに維持管理性の向上を図られています。

